



2017年9月期 第3四半期決算概要

<ご注意>

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。

しかしながら、世界経済や当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。

つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。

株式会社 **エスケーエレクトロニクス**

2017年8月

FPD業界動向

■ 第10.5世代以上の液晶パネル工場建設進行

・BOE、CSOTが量産稼働に向けた計画進行

■ 中国初・第6世代有機ELパネルの点灯成功

・天馬微電子・BOEが第6世代有機ELパネルの点灯成功

■ 有機ELテレビへの関心が高まる

・国内での有機ELテレビ販売開始、新規参入を目指すセットメーカー出現

パネル市況

■ 大型パネル価格高止まり

・テレビサイズの大型化による需給逼迫が継続

■ 中小型パネル価格横ばい

・中国市場でのスマートフォン出荷台数鈍化
・有機ELへのシフト、パネルサイズ大型化

フォトマスク市場

■ 復調傾向

・高付加価値フォトマスク需要、新規生産ラインの立ち上がり需要

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



	2016年9月期	2017年9月期				第3四半期 累計比
	前第3四半期 累計期間	1Q	2Q	3Q	第3四半期 累計期間	
売上高	12,443	3,966	4,015	4,246	12,229	△214
営業利益	1,485	525	381	284	1,192	△293
営業利益率	11.9%	13.3%	9.5%	6.7%	9.7%	△2.2%
経常利益	1,908	392	366	306	1,064	△843
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,773	275	483	△174	585	△1,187
設備投資	212	179	2,330	1,010	3,519	3,307
減価償却費	1,003	281	473	538	1,293	290
研究開発費	296	131	96	130	357	60
E B I T D A	2,489	807	855	823	2,485	△3

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



科 目	2016年 9月末	2017年 6月末	前期末比
(資産合計)	21,051	23,859	2,807
現金及び預金	4,184	5,485	1,301
受取手形及び売掛金	3,419	4,148	728
たな卸資産	1,573	1,669	96
その他（流動資産）	1,553	679	△874
有形固定資産	9,418	11,020	1,601
無形固定資産	425	322	△103
投資その他資産	477	533	56
(負債合計)	4,666	6,276	1,610
支払手形及び買掛金	2,399	2,640	240
長期借入金（1年以内返済含む）	200	1,425	1,225
未払法人税等	236	394	158
その他（負債）	1,830	1,816	△13
(純資産合計)	16,385	17,583	1,197
自己資本（株主資本、評価・換算差額等計）	14,837	15,763	926
自己資本比率（%）	70.5	66.1	△4.4
有利子負債残高	330	1,503	1,173

業界動向

■ 大型パネル市場 **－成長－**

・ディスプレイサイズの大型化、4K化により継続して成長

■ 中小型パネル市場 **－成長－**

・スマートフォン向けパネルの高精細化・フレキシブル基板中心に有機ELへシフト、
車載ディスプレイやVR・ARの台頭

■ FPD面積需要 **－成長－**

・パネルサイズの大型化により継続して成長

■ 需給バランス **－タイトから緩和局面へ－**

・パネルサイズの大型化や有機ELへのシフトにより当面タイト
・セットメーカーの在庫水準上昇により供給過剰に転じる見通し

投資動向

■ 設備投資意欲いまだ旺盛

・第10.5世代以上の液晶パネル工場建設前倒し
・有機ELパネル工場への大規模投資計画浮上
・新興国への液晶パネル工場の設備投資計画浮上
・パネル供給過剰につながる懸念

VR : Virtual Reality (仮想現実)、AR : Augmented Reality (拡張現実)

2017年9月期 連結業績予想 (単位：百万円)



SK-Electronics CO., LTD.

	2016年9月期 (実績)			2017年9月期		
	第3四半期 累計期間	4Q	通期	第3四半期 累計期間 (実績)	4Q (計画)	通期 (計画)
売上高	12,443	3,302	15,745	12,229	4,971	17,200
営業利益	1,485	145	1,631	1,192	508	1,700
経常利益	1,908	92	2,000	1,064	536	1,600
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,773	12	1,785	585	365	950
設備投資	212	595	807	3,519	3,081	6,600
減価償却費	1,003	355	1,358	1,293	707	2,000
研究開発費	296	120	417	357	168	525
一株当たり配当金 (円)	-	-	18 (記念配3円含む)	-	-	15

< ご参考 > 当社グループの新規事業案件への取り組み



新規事業案件の まとめ	主な製品群等	販売戦略等
プリントエレクトロニクス 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・厚膜レジスト原盤 ・電鍍版 ・ガラスドライエッチング版 	<ul style="list-style-type: none"> ・量産化実現に向けた積極的な市場へのアプローチ ・最先端技術を用いた製品開発
RFID分野	<ul style="list-style-type: none"> ・極小RFID ・市場、顧客ニーズに合わせたシステム製品の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さい」という特徴を活かした、顧客ニーズへのソリューション提案 ・システム販売も含めた当社独自製品の開発（付加価値のあるRFID関連新製品の市場投入）
ヘルスケア分野	<ul style="list-style-type: none"> ・SEM Glove 自立支援用 ・電気刺激装置 WILMO 	<ul style="list-style-type: none"> ・学会、展示会に医療機器の展示による認知度向上 ・より使いやすい製品の実現にむけた改良及び実証実験の継続 ・WILMOの製造販売及び新製品の市場への投入
イメージングシステム分野	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマイクロスコープ ・自動計測コロニーカウンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品展開の拡充（他分野との連携による事業領域の拡大） ・食品業界、製薬業界のマーケティングに基づく製品開発および差別化
(株)清原光学	<ul style="list-style-type: none"> ・光学システム・光学部品・レーザ関連機器・精密機器の設計製作および販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益構造の悪化を解消するため、固定費削減を中心とした抜本的な構造改革を実施すると共に、売上構成のベースとなる光学部品等への販売力を強化し、事業の立て直しを図る。